



九州大学
KYUSHU UNIVERSITY



NEXCO
西日本

第14回 技術シンポジウム インフラDXで 人や社会は 幸福になれるのか

日時：令和4年10月18日(火)
13:00~17:20(開場12:15)

会場：アクロス福岡B2Fイベントホール
(福岡市中央区天神1-1-1)

申込み先

※その他注意事項も併せてご確認ください。
<https://www.kyushu-u-nexco.jp/index.html>



プログラム

13:00~13:05 開会挨拶

13:05~14:15 基調講演

『社会を豊かにするインフラとは?』

馬奈木 俊介(九州大学大学院工学研究院環境社会部門教授)

14:15~14:40 講演

『NEXCO西日本におけるDXの取組み』

松村 宜弥(NEXCO西日本経営企画本部 情報システム部長)

14:40~14:55 学生アイデア発表

『学生が考えるインフラDX』

道路工学実践教室 最優秀受賞者

14:55~15:15 休憩(20分)

15:15~17:15 パネルディスカッション

『インフラDXについて考える』

コーディネーター 馬奈木 俊介(九州大学大学院工学研究院環境社会部門教授)

パネリスト

森下 博之(国土交通省 九州地方整備局 企画部長)

渡邊 善太郎(株式会社スカイマテクス 代表取締役社長)

小野 和美(古賀マネージメント総研株式会社 取締役)

三谷 泰浩(九州大学大学院工学研究院附属アジア防災研究センター教授)

松村 宜弥(NEXCO西日本経営企画本部 情報システム部長)

17:15~17:20 閉会挨拶

新型コロナウイルス感染拡大状況によっては、開催方法の変更または中止の可能性があります。
最新情報は当シンポジウムHPをご確認ください。

開催方法

会場での開催に加え、
動画配信も実施いたします。

会場開催

HPの「シンポジウム参加申込み」
からお申し込みください。

申し込み締め切り
10/7

※事前申し込みのない方の当日参加はお断りいたします。
※土木学会認定CPDプログラム(認定番号: JSCE22-0909)
※新型コロナウイルスの感染防止対策を実施します。
(入場時の検温と手指消毒の実施・ご来場時のマスク着用・
ソーシャルディスタンス確保のため座席の間隔を確保)

動画配信

ライブ配信とオンデマンド配信のURLをHPに
掲載します。
HPよりご確認ください。

※CPD認定をご希望される方は所定の手続きが必要です。

主催：九州大学 共催：西日本高速道路株式会社
後援：国土交通省九州地方整備局、(公社)土木学会西部支部、(公社)地盤工学会九州支部、
(一社)九州橋梁・構造工学研究会、(一社)建設コンサルタンツ協会九州支部、
(一社)日本建設業連合会九州支部、(一社)九州地域づくり協会
お問合せ先：西日本高速道路エンジニアリング九州株式会社
kikaku@w-e-kyushu.co.jp



インフラDXで人や社会は幸福になれるのか

社会全体として「DX(デジタルトランスフォーメーション)」への取り組みが推進されており、国土交通省では、2022年を「DX」による変革に取り組む「挑戦の年」として位置付けています。しかし、実際の社会においては、従来のアナログ中心の古いシステムから抜け出せていない状況にあります。そもそも「DX」とは何でしょうか？本シンポジウムでは、DX導入による交通インフラ分野への期待される効果などを紹介しながら、官・民・学における「インフラDX」の取り組み・今後の展望などを議論し、「インフラDXで人や社会は幸福になれるのか」について、一緒に考えていきたいと思います。

講演者・パネリスト略歴

馬奈木 俊介 氏 (まなぎ しゅんすけ)

九州大学大学院工学研究院環境社会部門教授



福岡県出身。九州大学大学院工学研究科修士卒、2002年米国ロードアイランド大学大学院博士卒。Ph.D. (経済学)。米国サウスカロライナ州立大学ビジネススクール講師、東京農工大学大学院共生科学技術研究部助教授、横浜国立大学経営学部准教授、東北大学大学院環境科学研究科准教授、東京大学公共政策大学院特任准教授を経て、2015年より九州大学大学院工学研究院教授、九州大学主幹教授および都市研究センター長。経済産業研究所(RIETI)ファカルティフェローを兼任。2020年より九州大学総長補佐。第16回日本学術振興会賞受賞。国連「気候変動に関する政府間パネル(IPCC)」代表執筆者、国連「生物多様性及び生態系サービスに関する政府間科学政策プラットフォーム」(IPBES) 統括代表執筆者。

森下 博之 氏 (もりした ひろゆき)

国土交通省 九州地方整備局 企画部長



奈良県出身。1994年に建設省(現国土交通省)に入省。トヨタ自動車への交流派遣、関東地方整備局企画部施工企画課長、総合政策局建設施工企画課企画専門官、中国地方整備局松江国道事務所長、中国地方整備局道路部道路調査官、道路局国道・防災課道路保全企画室企画専門官、総合政策局公共事業企画調整課施工安全企画室長、道路局国道・技術課技術企画室長を歴任。現在、九州地方整備局企画部長として、組織のマネジメントや建設業の担い手確保などを担当するとともに九州地方整備局のインフラDXの推進に従事。

渡邊 善太郎 氏 (わたなべ ぜんたろう)

株式会社スカイマティクス 代表取締役社長



2002年早稲田大学理工学部機械工学科(流体工学専攻)卒業。同年三菱商事入社後、衛星画像・GISビジネスに従事し、多数の新規事業創出、子会社経営等に従事する中でリモートセンシングの可能性と課題に気づく。2016年に「リモートセンシングで、新しい社会を創る」というミッションを掲げスカイマティクスを創業後、サービスの発案、製品開発、営業を一貫して担当。ドローン・衛星等の様々なデバイスで得られる画像・データを統合し、地理空間情報と時系列情報も含めて処理解析が可能な「時空間解析プラットフォーム」を開発、建設業界向けドローン測量サービス「くみき」などユニークな各業界専用のDXサービスを提供している。2020年Mizuho Innovation Award受賞、2021年J-Startup選出。

小野 和美 氏 (おの かずみ)

古賀マネージメント総研株式会社 取締役



福岡市出身。上智大学文学部新聞学科卒。男女雇用機会均等法世代として1986年日本経済新聞社入社。1991年外資系広告会社に転職し、グローバル企業の日本におけるマーケティングに関与。出産を機にUターンし、1996年から株式会社電通九州に勤務。統合マーケティング局長、新規開発室長等を務め2021年末退職。新卒以来一貫してマーケティングやブランディング、コミュニケーション戦略立案、消費者行動分析等に携わる。2022年1月より古賀マネージメント総研株式会社取締役(現任)、3月より株式会社ワールドホールディングス取締役(独立社外、現任)。幸せを基点とした企業経営やマーケティング、キャリア形成をテーマとして、本年6月、株式会社ハピネスベイスを創業。

三谷 泰浩 氏 (みたに やすひろ)

九州大学大学院工学研究院附属アジア防災研究センター教授



1991年九州大学工学研究科土木工学専攻修士課程修了後、民間会社(建設会社)に勤務。退職後、1997年より九州大学工学研究院助手、1999年より同大学助教授を経て、2013年より現職。専門は、岩盤工学、地圏環境工学をベースに防災システムの構築、地理空間情報の利活用など情報と土木工学との融合を考えた研究を行っている。2017年九州北部豪雨災害においては、九州大学災害復興支援団の団長として活躍。現在、国土交通省九州地方整備局においてi-Construction産学官連携会議の委員長を務める。

松村 宜弥 氏 (まつむら よしや)

西日本高速道路株式会社 経営企画本部 情報システム部長



大阪府出身。1989年 日本道路公団(当時)に入社し、福岡管理局に配属。2005年の民営化以降、西日本高速道路株式会社 中国支社広島高速道路事務所長、本社技術本部施設部施設技術課長、四国支社保全サービス事業部長などを歴任。西日本高速道路ファシリティーズ株式会社経営企画本部長を経て、2021年6月より現職。経営企画本部において、情報システムやDX戦略推進を担当している。